

プラネタリウムのランキング

大阪市立科学館は、日本3位

先日、日本プラネタリウム協議会（JPA）が、全国のプラネタリウム（以下プラネ）の観覧者数などのランキングを初めて発表しました<http://planetarium.jp/>。大阪市立科学館は、おかげさまで、249館中日本3位となりました。ありがとうございました！

では、ほかにどんなプラネが上位なのか？ 気になりますね。ご紹介しましょう。

日本プラネタリウム協議会（JPA：Japan Planetarium Association）

と、本題に入る前に、ランキングを発表したJPAについてご紹介しましょう。JPAは日本のプラネ館のうち160館ほど中心にした団体です。2006年に発足し、会報発行のほか、各種研修やカンファレンスでの研究交流、見本市、プラネ業界のPR活動も行っています。ちなみに個人会員制度もあって、会合などに参加できます。くわしくはホームページ <http://planetarium.jp/> をごらんください。

ランキング上位の施設は？

では観覧者のランキングを見てみましょう。全国249館のデータです。1位名古屋市科学館48万人。2位“天空”（東京）43万人。3位大阪市立科学館36万人。4位“満天”（東京）で31万人。5位横浜こども科学館の15万人でした。

つまり、東京、大阪、名古屋、横浜という大都市の施設に大勢の観覧者がいるという、当たり前といえば当たりの結果になっています。

1位の名古屋市科学館は、日本最大級の科学館で、延床面積が2万㎡と大阪の2倍以上あります。そして特筆すべきは、世界最大のドーム直径35mのプラネがあることです。通りからもよく見え、名古屋のランドマークになっています。

名古屋のプラネは、大阪にとってもよく似ています。生解説で学芸員が投影し、番組もオリジナルで制作しています。科学のおもしろさを正面から紹介しようというところも一致していて、いつも互いに意識しあう存在です。



図1. 名古屋市科学館概観、手前はH2A ロケット

大阪とはスタイルが違う、東京の2プラネ“天空”“満天”

次に東京の“天空”と“満天”はどうでしょう。実は、東京23区には20近くのプラネがあります。1都市に事実上1館の大阪、名古屋、横浜とはそこが違います。そのなかでの2位と4位の観覧者数です。

まず、この2館は大阪や名古屋とはスタイルが違う私立のプラネです。それぞれスカイツリータウン（押上）とサンシャインシティ（池袋）という商業施設にあり、レジャー客がテナントの一つとしてプラネを観覧しています。営業も夜までやっています。また、展示場はなくプラネだけです。観覧料は中学生以上1500円と商業施設価格です。

プログラムは運営するコニカミノルタプラネタリウム株式会社制作の全天周の映像作品で、星空の解説は少しです。ナレーションに有名俳優やミュージシャンを起用するなど客層を意識しています。ただ、全国の科学館に配給することも考えてか専門的な天文学の内容を紹介した作品もあり、硬軟取り混ぜた印象です。



図2. “天空”の入口。
映画館のように全席指定

非常に多数の投影をする施設。小規模ながら観覧者が多い施設など

JPAはさらに「投影回数」や、規模別のランキングも発表しています。

投影回数は、沖縄の美ら海水族館もある国営記念公園海洋文化館のプラネが圧倒的です。年間で4400回以上も投影しています。1日に10回以上ですが、これは1番組が30分と短めだからです。星の生解説はなく、全天周映像作品をかけています。“天空”と“満天”も回数が多くなっています。これは加えて夜までやっているからです。さらに福岡の星の文化館も2600回でこちらも全自動での投影です。大阪市立科学館は5位ですが、生解説の施設では1位の2200回。がんばっているんですよ！

そのほか、規模別では郊外の小さなプラネが健闘しています。神奈川の厚木市子ども科学館と湘南台文化センター、静岡の富士川楽座、滋賀の大津市科学館、福岡の宗像ユリックス、愛知のとよた科学体験館です。それぞれ「あ、あの人が担当だ」と思い出せるようなプラネです。スタッフは重要と分かります。

もちろん、ランキング外でもよい施設はたくさんあります。旅先で色々なプラネを訪ねてみてください。大阪とは違うところも楽しんもらって、教えてください。そのうえで、「やっぱり大阪が一番おもしろくてためになる」と思ってもらえるようにがんばります。

渡部 義弥（科学館学芸員）